

みんなで続ける福祉活動

富浜町内会婦人部は、長年、市内大型スーパーにおいて、赤い羽根共同募金を行っています。10人が2グループに分かれて入り口付近に立ち、出入りするお客さんに対して、元気に笑顔で募金への声掛けを行い、幼児には風船を渡しました。

婦人部では、このほか、町内会でチャリティーパーティーを35年以上も続けています。

富浜町内会

会長 亀山 秀一



活動拠点をみんなの手で

新和会では、多くの会員参加のもと、町内会や老人クラブなどの活動拠点になっている富士会館の大掃除に汗を流しました。会員は、楽しく有意義な時間を過ごしている富士会館に感謝の気持ちを込めながら、換気扇や調理台の清掃だけではなく、来るたびに心を和ませてくれる会館周辺の花壇の片付けも行い、新年を迎える準備をしました。

新和会

会長 島田 幸一



親睦を深めたバス旅行

若緑町内会は、会員の世代間交流と日頃の心身リフレッシュを図るため、数年前から日帰りバス旅行を実施しています。

平成30年は、北海道命名150年にちなみ、赤レンガ庁舎や大倉山ジャンプ競技場など、札幌市内施設を見学。参加者は、大倉山展望台から望む札幌市の街並みに感嘆しながら、楽しい思い出のページをつくりました。

若緑町内会

会長 高橋 忠勝



手づくり作品展で地域交流

美園南町内会は、文化の日にちなみ日頃の活動の成果を発表する文化展を開催しました。

会員による生け花、ミニ盆栽、鉢植え、紙や木で作した城や汽車の模型のほか、町内にある福祉施設『とらい美園』と『総合支援センター』の利用者の作品も展示した文化展。来場者には、お汁粉を振る舞い、終始、賑やかな会場となりました。

美園南町内会

会長 岸 正治

